

# 日刊 磐城時報

福島縣石城郡平町町屋町十四  
編輯兼發行人 阿部弘成  
印刷 阿部印刷所  
印刷部 阿部印刷所  
發行所 阿部印刷所  
電話 阿部印刷所  
一、部金或銀一月分金金金金  
廣告料一行十四分金金金  
A日刊(日曜、祭日)休刊

## 愈々来る十九日から

# 平銀行開業

### 合併の假契約

水戸市常盤銀行と合併交渉のため水戸市に出張中の平銀行頭取山崎三郎氏外重役高岡唯一郎、木村清治、新田目善次郎各氏及び行員有賀幸太郎氏等は合併の交渉が愈々纏つたので八日午後九時歸平した。平銀行では九日午前十時から銀行内に於て重役會を開き合併交渉の件について協議した結果合併案を承認したので更にこの旨を相談役會に報告する處あり、相談役も之を諒したので十日午後一時重役木村清治新田目善次郎兩氏は水戸市に赴き同日午前十時から開かれた常盤銀行重役會の終るのを待つて合併の假契約を行ふ事になつた。兩行合併の比率は秘密に附されてゐるが合併契約が成立したので平銀行では十二日午前十時から十株以上の株主を平銀行に集り報告を求め、同日午後には大口預金者を招き諒解を求め、事になつた。株主總會は来る二十六日に開き合併の件を協議し然る後に正式の合併調印をなす筈である。平銀行開業の日時については、常盤銀行側では株主總會の終了後二十七日から開店する事を欲してゐたが、折柄年末の事でもあり、平銀行重役の意嚮として休業期間あけの十九日から開店し、二十七日迄は預金の制限支拂ひをなし、二十七日からは全部の預金支拂ひに應ずる事になつた。正式の合併調印後その認可を大藏省に申請し指令に接する迄は平銀行として開店し明年一月中旬頃から常盤銀行平支店と名稱を改める事なる筈である。兎に角平銀行が休業後僅か一ヶ月で開店し得る事は、休業銀行として全國に類

ある平公設市場は單に名義のみ  
の公設市場で町民は全く何等の  
關係などなく寧ろ之を一部資本  
家に利用せんがために設けた  
かの感があるもので町民は當局に  
對し少からず反感を持つてゐる  
一方廢止の運動さえ起つて來た  
がこれかあらぬか平町でも前後  
の事情を考慮した結果いよいよ  
來る十五日限りで斷然廢止する  
ことに決定されそれぞれ關係者  
に通牒を發した。

### 神谷村長問題

石城郡神谷村長にまつはる紛糾  
はその前後代議士高岡唯一郎氏  
佐藤久三郎氏は去る七日正式に  
村長に就任したので同村有志は  
同日平町尼子亭において新舊村  
長の歡送迎を兼ね大懇親會を開  
催した。

### 平公設市場

十五日で廢止  
平町字田町役場廳舎前に設けて  
の井に於て忘年會を開く。

### 町道幅員調査

一致点を見る事困難  
平町は市制實施に伴ふ區劃整理  
不正地等によつて侵された町道  
の前提として現在の町道幅員調  
査を行ふこととなり過般鐵道以  
北の道路より着手した所計らず  
も其地主は町道路の一部を使用  
側は先祖代々の土地に對し  
してゐることを發見した。此既  
報したが、その後平町では市内  
全部の町道を實測の上役場備へ  
地の實測にも當局で立會ひしか  
調査を行った結果各區の道路に  
二三件位宛を發見し非常に狼狽  
し目下善後策を考究中だが一部  
傳へられてゐる。

### 馬城會の忘年會

石城郡在任の相馬中學校卒業生  
より成る馬城會平支部では十六  
日午後五時から平町田町旗亭一  
平町字田町役場廳舎前に設けて  
の井に於て忘年會を開く。

### 利日取引

平魚市場  
石城郡在任の相馬中學校卒業生  
より成る馬城會平支部では十六  
日午後五時から平町田町旗亭一  
平町字田町役場廳舎前に設けて  
の井に於て忘年會を開く。

### 更だ片倉磐城製糸の工場敷地擴張

世界に二ヶ所しかない製糸機  
自慢の製糸機  
着々工事の進行を續けてゐる片  
倉製糸工場では愈々明年の  
春前より操業を開始することに  
決定過般三十名の優良女工を募  
集、埼玉縣大宮工場に見習とし  
て送つたが磐城工場において使  
用する製糸機は「ミノリ」式と稱  
する極めて精巧なもので現在同  
式の機械を使用してゐる工場は  
全く世界に二ヶ所しかない程優  
秀なものであると會社では自慢  
してゐる同機を二百四十カマド  
据付けて年々十二萬貫の春秋繭  
を製糸する筈であるが同工場  
は敷設後において石城二郡より  
運出する四十萬貫の繭を一手に  
引受け東北の製糸界に雄飛する  
計劃で工場敷地を擴張し更に四  
千坪を買入れた。

### 郡南金融

▲夏作立毛品評會  
城郡好間村夏作立毛品評會は來  
る十一月同村小學校において郡  
農會大山技師臨席の上舉行の筈  
である。この埋立計劃が許可  
なつて四萬二千坪の埋め立が實  
現した際には町の埋立地の一割  
五分を寄附する條件なので町當  
局もこの埋立に賛成してゐる。

### 小名濱港外埋立出願

小野晋平氏が  
石城郡小名濱町前縣議小野晋平  
氏は今回小名濱港港外の埋立を  
計劃し町會にも圖り承認を求め  
たので縣當局に出願する事にな  
つた、埋立地は築港の防波堤よ  
り西方約三百間、沖合に百五十  
間でその坪数は四萬二千九百坪  
である、この埋立計劃が許可  
なつて四萬二千坪の埋め立が實  
現した際には町の埋立地の一割  
五分を寄附する條件なので町當  
局もこの埋立に賛成してゐる。

あるといふので平町有志高橋龜  
松氏外郡内有志の十余名は七七  
後援會を組織し近く關係者一同  
平町旗亭谷口に集合の上大懇親  
會を兼ね發會式を舉行する。

### 精神講演會

平驛從業  
員よりなる道友會では八日午前  
九時から鐵道俱樂部において精  
神講話會を開催したが講師は青  
木晃雄氏であつた。

### 仙臺郷友會

在平仙臺  
郷友會總會は来る十六日平町  
尼子亭において例年通り開催す  
るが非常な賑ひを見るであらう。

### 郷村で組頭表彰式

平警察署管内郷村消防組に屬  
する宮、入山の火防組並に磐  
炭私設消防組の表彰式を九日  
午前十時より内郷村役場におい  
て舉行したが表彰者左の如し。  
入山火防組組頭馬目子之松、宮  
火防組組頭島田兼吉、磐炭消防  
組頭濱崎善三郎  
印刷物は 加納活版所

### 網會の庭球戰

磐城  
軟式庭球協會主催の本年度掉尾  
の庭球試合は昨日九日午前九時よ  
り平町九曜コートにおいて開催  
されたが参加チーム三十五組に  
達し非常な盛會であつた。

### 亂暴男引致

石城郡磐  
崎村大字藤原三井炭礦炭夫高橋  
宮次郎(四八)は六日午後十一時  
頃泥酔して炭礦警務所所にあば  
れ込み請願巡査派出所の看板を  
取外し七日平署に引致された。

### 七十七後援會

近々發會式  
七十七銀行平支店は山田支配人  
の處置宜敷を得ます、繁昌  
し預金者に對しても便宜懇切で

### 郡南金融

▲夏作立毛品評會  
城郡好間村夏作立毛品評會は來  
る十一月同村小學校において郡  
農會大山技師臨席の上舉行の筈  
である。この埋立計劃が許可  
なつて四萬二千坪の埋め立が實  
現した際には町の埋立地の一割  
五分を寄附する條件なので町當  
局もこの埋立に賛成してゐる。

### 小名濱港外埋立出願

小野晋平氏が  
石城郡小名濱町前縣議小野晋平  
氏は今回小名濱港港外の埋立を  
計劃し町會にも圖り承認を求め  
たので縣當局に出願する事にな  
つた、埋立地は築港の防波堤よ  
り西方約三百間、沖合に百五十  
間でその坪数は四萬二千九百坪  
である、この埋立計劃が許可  
なつて四萬二千坪の埋め立が實  
現した際には町の埋立地の一割  
五分を寄附する條件なので町當  
局もこの埋立に賛成してゐる。

### 更だ片倉磐城製糸の工場敷地擴張

世界に二ヶ所しかない製糸機  
自慢の製糸機  
着々工事の進行を續けてゐる片  
倉製糸工場では愈々明年の  
春前より操業を開始することに  
決定過般三十名の優良女工を募  
集、埼玉縣大宮工場に見習とし  
て送つたが磐城工場において使  
用する製糸機は「ミノリ」式と稱  
する極めて精巧なもので現在同  
式の機械を使用してゐる工場は  
全く世界に二ヶ所しかない程優  
秀なものであると會社では自慢  
してゐる同機を二百四十カマド  
据付けて年々十二萬貫の春秋繭  
を製糸する筈であるが同工場  
は敷設後において石城二郡より  
運出する四十萬貫の繭を一手に  
引受け東北の製糸界に雄飛する  
計劃で工場敷地を擴張し更に四  
千坪を買入れた。

▲磐炭で重傷 宮城縣名取郡鹿島村生れ當時内郷村大字金坂畑淵宗春方居住磐城炭礦高坂坑々夫近野熊藏(四三)は去月中高坂坑第二斜坑内で作業中落磐のため重傷を負ひ高坂病院で加療の結果全治に近かつたが、六日突然人事不省に陥つたので平署から七海巡査部長出張検視したが生命危篤である。

西洋料理の作り方

イワキ食堂主 森川泰一郎 (八) シュウ・アラ・クリーム 材料十人前分付

シユウ(皮) ラアド粉 三六個 卵 三三個 水 六六個 鶏卵(黄身) 二二個 白砂糖 廿五個 鶏卵(黄身) 二二個 白砂糖 廿五個 (中身) 香料(レモン) 少々

順序を致しまして先づ皮を擀へねばなりません、新聞紙の上にてラアド粉十枚を篩ひ置き、鍋の中に水六勺位とバター又はラアド十枚を入れて、弱火に架けてバターはラアドの解けた時火より下し、ラアド粉を入れ手早く杓子にて混ぜ合せつゝ火に再び架け、鍋の底に焦げ付かぬ様に混ぜ、少し液体の白く色の付いた時火より下ろし鶏卵一個を入れ充分混ぜ合せつゝ又一個と云ふ様に鶏卵三個を入れよく混ぜ合せ、硬い糊位の液体を搾出袋に入れ鐵板ブリキ等の上に適宜の大きさに腰高く搾出し天火の下段にてシラムまで焼き、又上段に入れて、栗色まで焼き上げ、シユウ(皮)を捲きます。

次に中身を捲くには、砂糖牛乳、メリケン粉を鍋に入れ泡立器にて、よく攪拌しつゝ、火に架け、鍋の底に焦げ付かぬ様混ぜ、ドロンの糊位になりたる時、火より下ろす。同時に鶏卵黄身二個を加へ、手早く混合し少し冷えてから香料レモンエッセンスを少々入れませ。

シユウとアラクリームと出来上りました、此皮に中身を入れる時は、皮の横上の處を六分目位切り其の中へ、匙又は搾出袋にて中身を入れます。

注意 此のシユウ・アラ・クリームの中身の鶏卵黄身は半熟にてこしらへ上げますから出来得る限り自宅でおこしらへ下さい。信用の無い店舗より買入れると衛生上危険であります。

鳥御料理 平町南町平館隣り 電話四二四番

平町紺屋町 吉田眼科院 電話六八番

痔の高級内服薬 「ダイサン錠」 平五 山野邊藥局

舊電話三一六番 新設電話八四二番 馬目雅治

募集廣告 有給 見習 徒弟 十六名 一指物職工 十名 右希望者ハ至急來談ノ事 平町三丁目 電話三五九番 丸ぼん家具店 平町新田前 電話七二三番 丸ぼん家具製作所 滋養、強壯劑として愈々好評 偉大なる薬酒 栗守酒 朝の一盃は精力の根幹、晩の一盃は睡眠の助力 栗守酒特約店 大平屋藥店 代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目 電話六四二

平町田町(電話五一三番) 高久病院 醫學士 高久 赤羽 菊雄 新海醫學士 佐竹 雄清 藥劑士 外科花柳病科 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

新築移轉御披露(平町南町) 耳鼻咽喉科 門 備完室病 ありあ便の炊自

内臓外科 骨關節外科 整形外科 藤本順

産科 婦人科 木村寅次郎 外産婦人科 木村醫院 平町新川町(電話一六四)

和洋銅鐵 金物問屋 釜屋商店 警城セメント會社特約店 警城平 電話一三九番 確確實敏捷は(丸)の生命なり!!!

磐城病院改稱 市原病院 平町田町(電話二四四番) 内科、小兒科 市原卯太郎 外科一般、婦人科 市原陸郎 花柳病科 市原三三男

二葉印刷所 英照院葬送之際は御會葬被成下且つ御叮嚀なる御香奠を賜り難有奉深謝候拜趨御禮可申上の處乍略儀以紙上御厚禮申述候 敬具 昭和三年十二月十日 福島縣平町搔搦小路 男 阿部 政右衛門 外親 戚一同

本社々長阿部乙三郎送葬の際には態々御會葬被成下有難く御禮申述候 昭和三年十二月十日 平運輸株式會社